

平成 22 年度「公共図書館におけるデジタルアーカイブ事業の優良事例調査」

(概要)

1. 背景・目的

デジタル情報資源ラウンドテーブル¹「公共図書館におけるデジタルアーカイブ推進会議」ワーキンググループにおける活動の一環として、公共図書館で実施されているデジタルアーカイブ事業のうち、ワーキンググループ構成員の推薦・コメント等を得て、特徴的な活動を行っていると思われる事業を優良事例として選定し、これらを対象に本調査を実施した（参考事例として地方自治体が発行している事例 3 件を含む）。本調査の結果を当館ホームページ上で一般公開することにより、公共図書館におけるデジタルアーカイブ構築の参考に資することを目的とする。

2. 調査対象

デジタルアーカイブ事業を活発に推進している公共図書館の事例 20 件（内訳：県立図書館 12 件、市立図書館 5 件、町立図書館 2 件、村立図書館 1 件）。

参考事例として、自治体が地域振興の観点で行っているデジタルアーカイブ事業の事例 3 件についても調査対象とした。

詳細は別添の対象機関一覧のとおり。

3. 調査期間

平成 22 年 11 月～平成 23 年 3 月

4. 調査手法

電子メールによるインタビュー調査

5. 調査内容

デジタルアーカイブ構築のきっかけ、コンテンツの概要、構築までのプロセスと体制、日々の運営業務と課題、地域住民の参加や他機関との連携の有無、商用サービスの利用の有無、今後の展望等について調査を行った。

本調査と併せて、平成 21 年度図書館及び図書館情報学に関する調査研究「文化・学術機関におけるデジタルアーカイブ等の運営に関する調査研究」²で得られた個別機関データの更新を行い、本調査の回答と併せて公開している（平成 21 年度調査の対象とならなかった機関等の一部についても、同様の設問での調査を行った。いずれも、得られた回答のうち公開の了解が得られたもののみ掲載している）。

¹デジタル情報資源に関する博物館・図書館・文書館（MLA）の連携を進め、共通の課題の解決に向けて協議することを目的とした会議体。平成 22 年 3 月設置

² http://current.ndl.go.jp/FY2009_research

6. 調査結果概要

調査結果の概要は以下のとおりである。詳細は、各機関の回答を参照されたい。

(1) コンテンツについて

地域に関する貴重資料（古文書、浮世絵、古地図等）や、静止画資料（絵葉書、写真等）が多数である。特色あるコンテンツを提供している機関として以下の例がある。

【特色あるコンテンツの例】

- ・ 貼込帳に貼られた乗車券等（東京都立）
- ・ 富山の菓売りが土産に配った売菓版画（富山県立）
- ・ 江戸幕府旧蔵書（静岡県立中央）
- ・ 来館者芳名録（芥川龍之介等著名人のサインを抜粋）（長崎県立）
- ・ ポスター（函館市中央）
- ・ 菓袋のデザインパッケージ（富山市立）

【紙資料以外のコンテンツを提供している例】

- ・ 民話の語り（秋田県立）
- ・ 祭の動画（秋田県立、長野県等）
- ・ 伝統芸能の動画（石川県）
- ・ 地域住民が作成した動画（長野県、岡山県立）
- ・ 地域住民や図書館が撮影したデジタル写真（山中湖村、豊中市立岡町）
- ・ ユーザから提供を受けた町の情報（愛荘町立愛知川）

(2) 構築時の状況について

構築のきっかけとしては、システム更新、ホームページリニューアル等の他、文部省委嘱の「社会教育施設情報化・活性化推進事業」、自治体の情報化推進施策等が挙げられた。時期としては、早いところで1990年代半ばから話が始まっている。

構築時の体制としては、ほとんどの機関が何らかの作業を業者に委託している。委託業者を除いた担当職員数は、1～5名が多い。自治体内で実行委員会を組織した事例（上田市立上田）、民間事業者や学識経験者も交えてワーキンググループを設置した例（長野県）も見られる。

構築にかかった期間は、5～10年をかけた機関がある一方で、半数弱の機関が1年未満と回答している。ただし、計画段階からの期間を回答しているケースと、実際に構築に着手してからの期間を回答しているケースがあるため、一概に比較はできない。

構築時に最も苦勞した点についての回答は多岐にわたった。予算・人員の確保、仕様書

の作成や仕様に関する業者とのやり取り、他団体との交渉や意見調整、資料の調査、データ所有者の理解を得ること等が挙げられた。

構築時に必要となった知識についての回答では、技術面では基本的な知識（仕様書が作成できるレベルの知識、HTMLに関する標準知識等）が必要だったという回答がほとんどであった。技術面以外では、原資料に対する知識、次いで著作権法等関連法規に関する知識が必要という回答が多かった。必要な知識の取得方法としては、3分の1強の機関が研修・研究集会に参加したと回答しており、具体的な研修名としては、国立国会図書館の遠隔研修「資料電子化の基礎」、同集合研修「資料電子化研修」³、準デジタルアーキビスト資格取得講座、全国図書館大会、奈良先端科学技術大学院大学の電子図書館講座、文化庁の著作権セミナー等が挙げられた。その他、文献等で学習した、特に何も行わなかった、前職の経験を活かした、等の回答があった。

(3) 稼働後の運営について

日々の運営作業として行われているものとして、データ登録、メタデータ作成、二次利用の申請への対応等が挙げられた。半数弱の機関では、このような運用作業を担当者1名で実施していた（委託業者やボランティアは除く）。

運営の課題としては、人員面の課題（専任ではないため負担が大きい、専任担当者の確保、人材育成）、予算、コンテンツ更新、メタデータや解題の作成や整備等が挙げられた。

運営担当者に必要な知識については、技術面では特別な知識を必要としていないという回答が3分の1程度を占めた。具体的に必要な知識として挙げられたのは、ネットワークの基礎知識、ホームページ作成の基礎知識等であった。技術面以外では、資料に関する知識（取り扱いに関する知識を含む）が最も多く、次いで著作権等関連法規に関する知識が多かった。人材育成のための取組みについては、特に行っていない機関が半数強を占めた。具体的な取組みとしては、外部研修や研究集会（国立国会図書館の研修、図書館大会等）、機関内での研修（操作研修、提供している資料の紹介）等が挙げられた。

(4) 地域住民の参加の有無

半数弱の機関では、デジタルアーカイブ事業に地域住民（地元研究者・大学等を除く）の協力を得ている。協力の内容としては、コンテンツの収集・作成・提供、書誌・解題の作成や分類等が挙げられた。

コンテンツの提供について地域住民の協力を得ている例（住民からコンテンツの提供を受ける、撮影協力、情報収集等）としては、秋田県立、岡山県立、豊中市立岡町、愛荘町立愛知川、山中湖村等がある。

ボランティアや元職員に書誌・解題の作成や分類について協力を得ている例では、静岡

³ 平成15~18年度に実施。内容を改訂の上、平成23年度から「資料デジタル化研修（仮称）」の開講を予定している。

県立中央、函館市中央の例がある。

(5) 他機関との連携の有無

大半の機関が、何らかの形で他機関と連携していると回答した。

外部データベースの連携では、「国立国会図書館デジタルアーカイブポータル (PORTA)」(平成 23 年 3 月 2 日現在、調査対象機関のうち 10 機関が連携)、「国立公文書館デジタルアーカイブ」(奈良県立) 等がある。

同じ自治体の図書館、博物館・美術館、文書館と連携している機関も多い。資料やシステムに関するアドバイス、データの登録・管理等の協力を得ているケースのほか、岡山県立や地方自治体の参考例に見られるように、博物館、文書館等が提供するコンテンツを検索・閲覧可能にしているケース等がある。また、北海道立では、他図書館の展示複製作成用にデジタルアーカイブのコンテンツの貸出しを行っている。

地元の大学等との連携例は多数見受けられるが、特にシステム構築、コンテンツ作成、書誌作成、資料の調査等において、大学のノウハウを活用している例が多い。函館市中央では、地元大学と研究開発委託契約を結び、公開用システムの構築を依頼した。福岡県立では、地元大学の地域連携事業の一環として古地図のデジタル化を行い、その成果を双方の機関のデジタルアーカイブで公開している。京都府立総合では大学との共同研究等により新たなコンテンツの作成を行っている。ノウハウの活用以外の例では、大学図書館が運営する地域共同リポジトリにコンテンツを提供している福井県立がある。

自治体の首長部局との連携では、構築時に自治体内の情報政策の担当部署と相談して進めた例が見られる(岡山県立、長岡市立中央、上田市立上田、豊中市立岡町)。その他自治体首長部局との連携例では、県史・町史編さん部署に相談した例(福井県立、愛荘町立愛知川)、商工観光部門から産学連携に関する参考書類を得て大学との委託契約を進めた例(函館市中央)があった。

隣接自治体との連携例としては、豊中市・箕面市、市民団体及び学識経験者で構成される実行委員会を設置してデジタルアーカイブ事業を進めた豊中市立岡町の事例がある。

その他の連携先としては、国立情報学研究所、民間企業等がある。

(6) 費用面での工夫

費用面での工夫としては、(4)で述べた地域の人材の活用、(5)で述べた他機関との連携の他に、公募等により財源を獲得する、安価な商用サービスを利用する等の取組がみられた。

公募等の例では、文部省(当時)委嘱事業「社会教育施設情報化・活性化推進事業」(岩手県立等)、地域活性化・経済危機対策臨時交付金(小布施町立)、図書館振興財団(岩手県立、奈良県立⁴)等の回答があった。また、緊急雇用対策事業として構築事業を行ったケ

⁴ 第 1 回公共図書館におけるデジタルアーカイブ推進会議(平成 22 年 2 月 18 日)報告資料による。
(http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/pdf/H21kokyo_kawabata.pdf)

ースが多数見られた。

商用サービスの例では、写真共有サービス「Flickr」（山中湖村）、動画共有サービス「YouTube」（小布施町立、山中湖村、石川県）を活用してコンテンツを提供している事例があった。

(7) 二次利活用について

コンテンツの二次利活用の仕組みを整備している例としては大阪府がある。大阪府では二次利用に係る手続きを業者に委託し、商業利用する利用者から利用料を徴収し、そこから使用許諾料を大阪府に戻し入れて、新規の画像データ撮影等に充てている。

その他、図書館利用講座に活用している例（北海道立）、展示会に活用している例（秋田県立、豊中市立岡町等複数）、スチールフィルムを作成して出版、テレビ放映用等に貸し出している例（東京都立中央）、画像を用いたグッズを作成している例（静岡県立中央）等がある。

以上

(別添) 調査対象機関一覧

		館名	デジタルアーカイブ名称	概要
1	都道府県立	北海道立図書館	北海道立図書館北方資料デジタル・ライブラリー (http://www3.library.pref.hokkaido.jp/digitallibrary/)	北方資料(郷土資料)に関する、主に古地図、古文書等からなるデジタルアーカイブ
2	都道府県立	岩手県立図書館	イーハトーブ岩手電子図書館 (http://www.library.pref.iwate.jp/ihatov/index/sakuin.html)	古文書・古絵図等の郷土資料や石川啄木・宮澤賢治関係資料の中から、特に歴史的価値の高い資料をデジタル化
3	都道府県立	秋田県立図書館	秋田県立図書館デジタルライブラリー (http://www.apl.pref.akita.jp/)	古文書、動画民話音声、絵図、索引データベース、雑誌画像データベース
4	都道府県立	東京都立中央図書館	貴重資料画像データベース (http://www.library.metro.tokyo.jp/1v/1v009.html)	浮世絵、江戸城造営関係資料(重要文化財)、和漢書(草双紙、武鑑)
			特別コレクション (http://www.library.metro.tokyo.jp/1v/1v009.html)	当館特別文庫室所蔵の貴重資料と都立多摩図書館が所蔵する児童資料を紹介
			都市・東京の記憶-Tokyo Archive (http://www.library.metro.tokyo.jp/tokyo/index.html)	東京の歴史・文化についての資料を画像で紹介
5	都道府県立	富山県立図書館	富山県立図書館 古絵図・貴重書ギャラリー (http://www.lib.pref.toyama.jp/)	富山県立図書館が所蔵する貴重資料と富山県の各地域にわたる絵図などをデジタル画像で提供
6	都道府県立	福井県立図書館	福井県立図書館貴重資料データベース (http://www.library.pref.fukui.jp/webmuseum/)	越前福井藩主松平家、若狭小浜藩主酒井家に伝わる藩政資料及び館蔵の近代地図等
7	都道府県立	静岡県立中央図書館	デジタル・ライブラリー (http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/contents/library/index.html)	貴重書(葵文庫・久能文庫)、特別取扱資料、浮世絵
8	都道府県立	京都府立総合資料館	京都北山アーカイブズ (http://www.pref.kyoto.jp/archives/)	黒川翠山写真・琵琶湖疏水工事写真帖等の古写真、御所・御陵絵図、社寺関係資料等、京都にゆかりの絵図等を掲載

		館名	デジタルアーカイブ名称	概要
9	都道府県立	奈良県立図書情報館	郷土資料論文抜刷データベース (機関内一般公開)	館所蔵の郷土関係の学術論文の抜刷のデータベース
			絵図展示ギャラリー (http://www.library.pref.nara.jp/gallery/ezu/)	館所蔵の古絵図データベース
			ふるさとデジタル化書籍一覧 (http://opacsvr02.library.pref.nara.jp/mylimedio/dirsearch/dirsearch.do?dirid=furusato)	館所蔵の貴重書籍のデータベース
			所蔵古文書一覧 (http://opacsvr02.library.pref.nara.jp/mylimedio/dirsearch/dirsearch.do?dirid=komonjo)	館所蔵の古文書のデータベース
			奈良県地域史料目録 (http://www2.library.pref.nara.jp/nlmc/)	奈良県地域の史料の紹介や研究、史料を翻刻したものや影印で複製した書(誌)、史料の目録掲載書(誌)のデータベース
			デジタル化公文書一覧 (http://www.library.pref.nara.jp/furusato/archives.html)	館所蔵の奈良県行政文書のデータベース
10	都道府県立	岡山県立図書館	電子図書館システム デジタル岡山大百科 (http://digioka.libnet.pref.okayama.jp/)	「岡山県図書館横断検索システム」、「レファレンスデータベース」、「郷土情報ネットワーク」の三つの機能に大別され、このうち「郷土情報ネットワーク」がデジタルアーカイブの機能を担う。同館所蔵資料に加え、県内の様々な機関(博物館、大学など)と連携してコンテンツを収集し、さらには県民から岡山に関する情報の提供を受ける県民参加型のアーカイブシステムとして運営していることが特徴
11	都道府県立	福岡県立図書館	デジタルライブラリ (http://www.lib.pref.fukuoka.jp/degital)	同館所蔵の貴重資料・郷土資料の画像を紹介

		館名	デジタルアーカイブ名称	概要
12	都道府県立	長崎県立長崎図書館	郷土ライブラリー (http://www.lib.pref.nagasaki.jp/index.php?id=5)	長崎ゆかりの文学（作家のプロフィール）、明治 35 年以降の郷土新聞、近現代資料（雲仙関係、島原鉄道建設関係）、芳名録（著名人のものを一部電子化）、行政資料
13	市立	函館市中央図書館	デジタル資料館 (http://www.lib-hkd.jp/digital/index.html)	古地図・古写真・絵葉書・ポスターの画像資料を中心としたデジタルアーカイブ。また文字資料については「函館市史デジタル版」「はこだて人物誌」を展開しており、文字資料と画像資料による両面からのデジタル化を図っている。
14	市立	長岡市立中央図書館	ながおかネット・ミュージアム (http://www.e-net.city.nagaoka.niigata.jp/museum/index.html)	所蔵する貴重資料の画像・基本情報・解説など。主として上杉謙信・景勝・直江兼続・河井継之助の書など
15	市立	富山市立図書館	山田孝雄文庫電子化資料 (http://www.library.toyama.toyama.jp/yamadadl/index.html)	富山市出身の国語学者・山田孝雄氏の自筆原稿及び同氏旧蔵になる江戸期以前の和古書をデジタル画像化したもの
			電子図書館 (http://denshi.library.toyama.toyama.jp/)	各種の富山市古地図及び薬袋のパッケージデザイン等をデジタル画像化したもの
16	市立	上田市立上田図書館	上田市立上田図書館デジタルライブラリー (http://www.echol.gr.jp/digital/lib/index.html)	同館所蔵の特殊コレクションの紹介、代表的コレクションである花月文庫の目録、同文庫中の東山道信濃国略図、御当代記、上田市立上田図書館のあゆみで構成
17	市立	豊中市立岡町図書館	北摂アーカイブス (http://wiki.service-lab.jp/lib/toyonaka/)	行政だけではなく、民間事業者、学校などの地域の団体及び地域住民が所有する地域にまつわる写真を収集し、市民サポーター（地域フォトエディター）が取材・編集をして公開・更新し地域資産を協創するアーカイブ (箕面市立図書館等と連携して実施)

		館名	デジタルアーカイブ名称	概要
18	町立	小布施町立図書館 まちとしょテラソ	小布施人百選 (開発中)	人づくりや町づくりに役に立てるという観点から、小布施の人物を丹念に取材し、考え方と実績と課題、将来ビジョンを「人物誌」としてアーカイブ
			想－IMAGINE まちとしょテラソ (平成 23 年 5 月公開予定)	NPO 法人連想出版が提供している「想－IMAGINE Book Search」と、小布施町の情報（図書館の資料、古写真、古地図など）とを連携
			小布施ちずぶらり	NPO 法人連想出版、株式会社 ATR・Promotions との共同制作による、iPhone、iPod touch 及び iPad 用アプリ。小布施町の絵地図（イラストマップ（2010 年）及び天明年間小布施町古地図中町周辺（18 世紀後半））の上に、GPS 情報を用いて現在地を表示し、おすすめスポットを見たり、Google Maps と切り替えて見ることができる。
			小布施正倉 (http://obuseshoso.info)	MLA 連携による、小布施町の文化機関の所蔵資料のデジタルアーカイブ。高井鴻山記念館及び中島千波館の所蔵資料を閲覧できる。
19	町立	愛荘町立愛知川図書館	町のこしカード Web 版 (http://www.town.aisho.shiga.jp/machinokoshi/)	住民が町内でみつけたおもしろいもの、後世に残したい風景・もの、などをカードに記入してもらった「町のこしカード」をインターネットでも投稿・閲覧できるようにしたもの
			えちがわ歴史写真館 (http://www.town.aisho.shiga.jp/shashin/)	所蔵資料の中から昭和 40 年代の写真を閲覧できる
20	村立	山中湖情報創造館	山中湖古写真所在目録事業 (http://www.flickr.com/photos/lib-yamanakako/)	山中湖の歴史や文化などを記録する写真を地域住民の提供により収集（デジタルカメラによるデジタル複写）
21	自治体	石川県商工労働部 産業政策課	石川新情報書府 (http://shofu.pref.ishikawa.jp/)	石川県の貴重な文化資産を将来にわたって継承するため、現代の新しい視点と最先端の情報技術で記録・保存したもの
22	自治体	長野県企画部	長野県デジタルアーカイブ推進事業「信州デジくら」 (http://digikura.pref.nagano.lg.jp/)	県立歴史館、県立長野図書館、県信濃美術館の所蔵品をはじめ、各種映像記録、県民からの提供を含め、幅広いデータを収録

		館名	デジタルアーカイブ名称	概要
23	自治体	大阪府商工労働部 経営支援課	おおさかアーカイブス (http://www.osaka-archives.com/)	大阪府が所蔵する文化資産をアーカイブ化